

平成27年度 地元報告会【要旨】

日 時：平成28年3月26日（土）17：00～18：10

場 所：多摩ニュータウン環境組合 リサイクルセンター 多目的室1

出席者：阿部管理者、會田事務局長、諸星施設課長、芳野総務課長（兼）出納課長、江尻
リサイクルセンター長、事務局5名

参加者：中組自治会2名、唐木田自治会2名 計4名

1 説明内容

(1) 主な事業の取り組みについて

ア 安全対策

- ・環境測定の充実・ISO14001の適切な運用・放射能濃度等測定の実施

イ たまかんニュース

- ・年2回 各117,000部発行・地域版年3回 各回約3,200世帯ポスティング

ウ 地域交流ふれあい事業の実施

- ・平成27年10月18日たまかんフェスタ（来場者 約2,000人）

エ 施設見学会の実施（平成28年2月末）

- ・58団体 2,403人参加

オ 唐木田クリーンアップ作戦

- ・職員等による工場周辺美化活動・企業を含む実行委員会による唐木田周辺美化活動

カ リサイクルセンターの運営（平成28年2月末現在）

- ・280日 30,582人来館

(2) ごみ搬入量の推移

構成市の人口は増加しているが、ごみの搬入量については毎年減少している。

(3) 平成27年度 多摩清掃工場へのごみ搬入量

八王子市拡大区域、構成市応援処理分を含め平成28年2月末現在で

可燃58,955トン 不燃粗大3,933トン、合計62,888トン

(4) 平成27年度 構成市間応援協定に基づく処理支援の受入れ状況

ア 八王子市からの「可燃ごみ」受入れ状況

- ・受入期間 平成27年6月4日から平成27年6月30日まで
平成27年9月7日から平成27年10月2日まで

- ・受入理由 戸吹清掃工場と北野清掃工場の定期修繕のため

- ・搬入量と台数 657.95トン 306台

イ 町田市からの「可燃ごみ」受入れ状況

- ・受入期間 平成27年5月12日から平成27年5月29日まで
平成27年6月8日から平成27年6月30日まで
平成27年9月28日から平成27年10月16日まで
平成28年2月1日から平成28年2月26日まで

- ・受入理由 町田市清掃工場の耐震補強工事、中央監視装置更新工事、集じん機の性能低下による緊急停止のため

・搬入量と台数 6,177.86トﾝ 2,822台

(5) 焼却炉運転日数

1炉運転 平成26年度329日、平成27年度329日(予定)

(6) 環境測定結果

法令による基準値以下に自主規制値を定め、ごみ処理を行い、平成27年度の測定結果は表のとおり安定的な運転を行うことができた

(7) リサイクルセンター運営状況

開館日数・来館者数 280日 30,582人 多目的室利用実績 281回
リサイクル品販売実績 家具・木材等 6,229個 自転車・部品 192点
不用食器のリサイクル 持込者 513人

(8) 平成28年度予算概要について

予算規模、歳入・歳出それぞれ18億7,235万3千円
歳入・歳出予算の主なものについて説明。

(9) 平成28年度の事業予定について

ア 構成市へのごみ応援依頼について

八王子市へ不燃ごみを6、7月に約50トﾝ

町田市へ不燃ごみを6、7月に約135トﾝ

イ 主なイベント

・地域交流事業 たまかんフェスタ 10月16日

・施設見学会 夏休み子ども清掃工場見学会・煙突登り 8月

ウ 構成市間のごみ応援受け入れについての直近の予定

・八王子市 種類 可燃ごみ 時期 6月約800トﾝ、9月約500トﾝ

・町田市 予定なし

2 質疑応答

質問1 公債費の完済がせまり、2億8千百万円程まで減っている。今後基金への積立を増やして将来の財政運営に寄与したらどうか。

回答1 組合の運営費用の多くは構成市の負担金で賄われている。各市の財政状況が厳しさを増す中で、構成市は公債費が減るので負担金は下がることを期待している。負担金額を変えずに積立を増やすのは構成市の理解を得るのが難しい。

質問2 新公会計の予算で450万円程計上しているがその内訳はどのようになっているのか。

回答2 機器の導入費用が主になっている。今のところ、コンサルタントを入れないで行う予定だが、場合によっては導入しなければいけなくなる可能性もあるので、補正予算を計上することも考えている。

質問3 昨年の報告会で劣化診断委託があったが、その結果はどのようになったのか。

- 回答3 劣化診断は今年度3月に報告書が出た。建築設備について劣化診断を行い、外壁や床にひび割れがあった。来年度に焼却棟の外壁を補修し、内部に劣化が進まないように対策を行う。大きな劣化は見られなかった。
- 質問4 ごみが毎年減っている。54,000tが適正と言っている中で応援ごみを毎年受け入れている。早い段階で工場を建替えて少ない量で安定的に運営できるような方向でお願いしていたが、その後進展はあったか。
- 回答4 2月の住民説明会でご報告してから変更はないが、現工場を建設する際に焼却棟で282億円、不燃粗大棟で53億円かかっている。工場の寿命は25年と言われているが、延命化工事で10年延命し、現状の施設を使い切ることが効率的な運営につながると考えている。説明がしきれていない部分があるので、今後、住民説明会等で理解を得られるよう努力していく。
- 意見1 環境測定結果の中で自主規制値を設けて運用しているが、その規制値よりかなり低い数値で運転している。これならば、自主規制値をもっと厳しく設定しても良いのではないか。
- 回答5 自主規制値について厳しい数値を設けられるかどうか検討する。
- 質問5 売電収入について、電力自由化で地域の人に売るとは可能ではないのか。
- 回答6 直接組合が地域の人に売るとは、会社組織を作らないと契約できない。どうしたら地域に貢献できるか検討したが、現状では難しい。23区では清掃工場が複数あり、東京ガスと会社を立ち上げて学校等公共施設へ電力を売っているが、定期補修工事などで発電が出来ない場合でも他の工場で補い、また東京ガスの発電所で一部補うことができ安定的に供給できるので当組合とは状況が異なる。
- 意見2 年度の報告をしていただいているが、昨年行った事業計画の報告や予算の執行状況の報告があっても良いのではないか。
- 回答7 事業は決算を打ってから報告する自治体の制度の中で今までは経過報告を行ってこなかったが、ご意見をいただいたので主要なものについて検討していく。
- 意見3 廃自転車のリサイクルについて関係者や利用者にアイデアを募って新しい利用方法を募ってみてはどうか。
- 回答8 いろいろな方々から意見をいただき、可能なことは出来るだけ行うようにしている。廃自転車は年々台数が減っている傾向にあるが、子供用の自転車や三輪車の販売など、利用者の意見から家具の引出を販売したり、部品を単体で販売したりといただいた意見を反映するようにしている。